

NHK・民放から専門局まで

# ネットラジオを楽しもう

ラジオ放送——聴く人が減少しているといわれていた音声メディアが、ネットに対応して再び脚光を浴びている。スマートフォンやパソコンで、何千というラジオ局を聴けるようになったのだ。アプリを利用すれば、番組内容のチェックやリスナー投稿も簡単。改めて、その方法を基礎から見よう。

(田中 雄二＝ライター)

今、スマートフォンやタブレットでラジオ放送を聴いている人が増えている。聴いているのは、インターネット経由で番組を配信する「ネットラジオ」と呼ばれるものだ。

現在、NHKなどのラジオ放送は、ネット経由で簡単に聴取できるようになっている。また、世界中には数多くのネットラジオ局があり、バラエティーにあふれた番組を聴ける。

ネットラジオには、従来のラジオ放送に比べて、いくつかの利点がある(図1)。

まずは、専用機器が不要で、手持ちのスマホやパソコンで気軽に聴け

ること。ともするとラジオは古いメディアという印象もあり、今からラジオを聴くために数千～数万円の機器を購入するのをためらう人も多いだろう。手持ちのスマホで聴けるとなれば、試してみようというものだ。

音質が良い点も重要だ。電波で受信するラジオは、場所によっては電波が弱かったり、他地域の放送と混信するなどの理由で、受信できないこともある。また家電製品などが発生するノイズが影響し、聞き取りにくいケースもある。ネットラジオなら、インターネットが利用可能であれば、クリアな音声で聴ける。

そして最も重要なのが、ネットラジオならではの付加機能を利用できること。例えば、TwitterなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)と連携し、リスナーや出演者がリアルタイムでコメントを共有することができる。従来のラジオ放送に比べ、より参加型のメディアに生まれ変わっているのだ。

そのほかにも、番組で流れている楽曲の情報を即座に公開するなど、従来のラジオにはない便利さを備えるようになった。

このようにネット配信の利便性を生かして、ラジオが新しいメディア

## ●インターネット経由でラジオ番組を配信

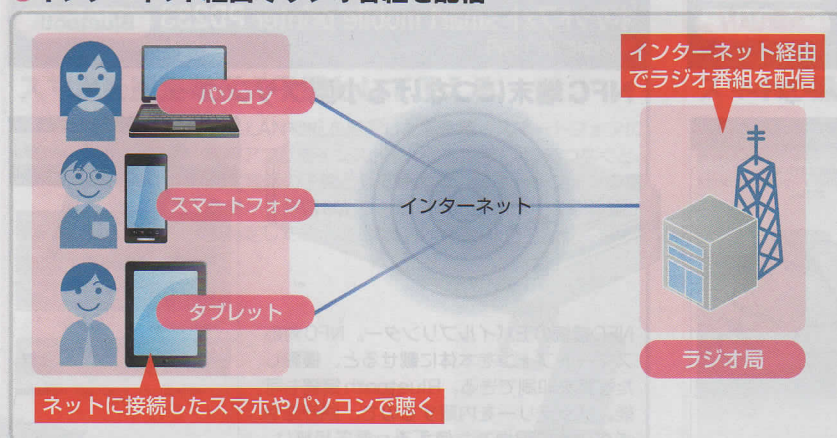


図1 ネットラジオとは、インターネット経由でラジオ番組を配信するサービス。ネットに接続可能なスマホ、タブレット、パソコンなどで聴取できる。手持ちのスマホなどで気軽に聴けて、リスナーがTwitterなどでコメントを共有できるなど、従来のラジオよりも便利な面が多く、利用者も増大している

### ネットラジオのメリット

- 1 専用のラジオ機器が不要**  
専用のラジオ機器が不要で、手持ちのスマホやパソコンなどで即座に聴ける
- 2 音質がクリア**  
ラジオ機器では、電波状態によっては雑音やひびきなどの理由で聞き取れないことも。ネットラジオならその心配はなく、クリアな音質で聴ける
- 3 いろいろな付加機能を利用できる**  
例えばTwitterなどのSNSと連携し、リスナー同士がリアルタイムで番組内容についてコメントすることなどが可能



へと進化しているのだ。

## 数多くのラジオ局がある

ネットラジオを配信している放送局には、大きく分けて2つの形態がある(図2)。

一つは、従来のラジオ局が、放送と同じ内容のものをインターネットで再配信しているもの。難聴取地域への対応などが本来の目的だった。国内では、NHKをはじめ、TBSラジオ、文化放送、ニッポン放送といった多くの民放、地域に根差した情報発信を行うコミュニティFM放送局が、ネット配信を実施している。諸外国のラジオ局も、ネット配信をしているところが多い。

一方、インターネットのみで番組を配信しているネットラジオ専門局もある。音声のみの配信のため、必要機材などの敷居が低く、参画しやすい。放送局や企業が行うものから、個人が配信しているものまで、その内容は千差万別。日本では、音楽配信の権利関連の調整が難しいため参入はそれほど多くはないが、世界には数多くのネット専門局が存在する。

ネットラジオには、通常のラジオのように番組をずっと流し続けるタイプのほか、動画サイトのYouTubeのように、好きな番組をその場で選んで聴取できるものもある(図3)。番組の更新情報を自動配信できる「ポッドキャスト」を使い、番組を配信するケースもある。

ネットラジオを聴くには、基本的にはWebブラウザで配信元のWebサイトを開き、そこで再生する(図4)。利便性向上のため、スマホやタブレット向けに、自局の番組を

## ● ネットラジオには大きく2つの形態がある



図2 ネットラジオには、2つの形態がある。一つは、実際に放送している番組を、ラジオ局がネットに再配信するというもの。難聴取対策などが目的で始まったサービスだ。もう一つは、ネットラジオだけを流している専門局。音声配信のみのため参画の敷居が低く、世界中に数多くの専門局がある

| 主な国内のネットラジオ専門局   |  |
|--|--|
| 局名(アドレス)   | 概要                                     |
| OTTAVA<br>( <a href="http://ottava.jp/">http://ottava.jp/</a> )                | TBSが提供するクラシック専門局                       |
| 超!A&G<br>( <a href="http://www.agqr.jp/">http://www.agqr.jp/</a> )             | 文化放送が提供するアニメ関連の番組を放送するラジオ。モバイル専用アプリもある |
| Suono Dolce<br>( <a href="http://www.suono.jp/">http://www.suono.jp/</a> )     | ニッポン放送が提供。ラブソングを中心に音楽を配信。モバイル専用アプリもある  |
| ListenRadio<br>( <a href="http://listenradio.jp/">http://listenradio.jp/</a> ) | 音楽を中心に配信するネットラジオ。モバイル専用アプリもある          |
| MUMIX<br>( <a href="http://www.mumix.net/">http://www.mumix.net/</a> )         | インディーズ音楽を中心として配信                       |

## ● 番組単位で配信するケースも



図3 ネットラジオでは、配信を番組単位で行うケースもある。好きな番組を好きな時間に聴くことができる。左図は「Radital」(ニッポン放送)の例。番組単位での聴取では、「ポッドキャスト」が使われることも。右図はラジオ日本のポッドキャスト配信ページの例

## ● ネットラジオを聴くには?



図4 ネットラジオは、基本的にはWebブラウザを使い、ラジオ局のWebサイトから聴取する。このほかスマホやタブレットでは、専用アプリを利用できるケースがある。専用アプリには、ラジオ局が自局用に用意しているものや、数多くのネットラジオを横断的に再生可能なものがある



## ●radiko.jpを使って民放ラジオを聴く

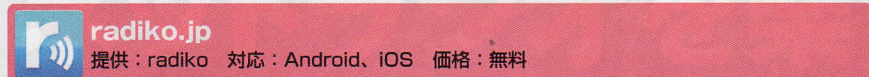


図5 radiko.jpを最初に起動したときには現在地の設定画面が表示される。そこで「OK」をタップすると、現在地で聴取可能なラジオ局の一覧が現れる。これから、聴きたい放送局をタップする

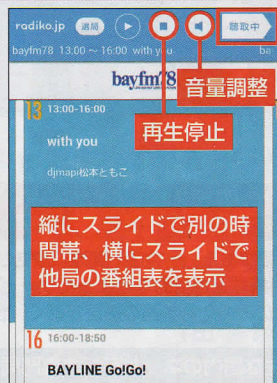


図6 これだけで、ラジオを聴取できる。画面には現在の番組表が表示される。画面上を指で上下にスライドすると他の時間帯の番組表が、左右にスライドすると他局の番組表が表示される



図7 図6の画面で「聴取中」ボタンをタップすると、番組の詳細が表示される。「タイムライン」のタブでは、番組に関連するTwitterの投稿が一覧表示され、「コメントする」をタップすると投稿もできる



図8 「オンエア曲」タブをタップして画面を切り替えると、放送中に流れた曲のリストが表示される。「購入」ボタンをタップすると、アマゾンなどの販売サイトへ移動する

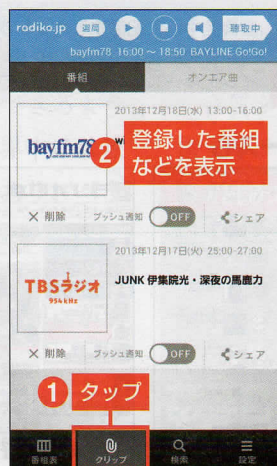


図9 図7や図8の画面にある「クリップ」は、いわゆるお気に入り。各画面で「クリップ」をタップすると登録される。画面下の「クリップ」をタップすると、クリップの一覧を表示できる

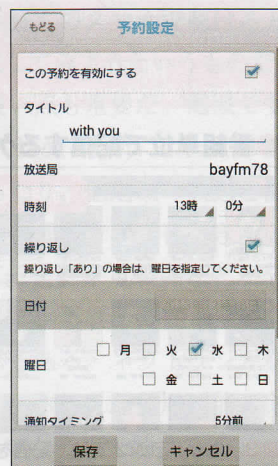


図10 図9の画面で「プッシュ通知」をタップしてオンにすると、番組の予約再生ができるようになる。必要な設定をして「保存」をタップ。番組が始まると自動で再生される

## ●ブラウザでradiko.jpを利用する



図11 パソコンでは、Webブラウザを使ってradiko.jpのサイトを開き、そこで聴きたい放送局を選べばよい。アプリ版と同様に、Twitterのコメントを表示したり、オンエア曲のリストを見ることが可能だ

聴取するための無料アプリを用意している例もある。また世界中のネットラジオへ簡単にアクセスできるように、一覧リストから選んで再生可能なアプリもある。

## ネットラジオを聴取する

ここからは、具体的なネットラジオの聴き方を見ていこう。まずは、民放が配信している番組の聴取方法だ。民放の多くは、「radiko.jp」というサービスを通じて配信を行っている。現状radiko.jpは地域制限を設けており、スマホやパソコンなどの再生機器の位置を判定し、そこで聴取可能な放送のみを配信している。例えば関東圏では現在、TBSラジオ、文化放送、ニッポン放送、ラジオNIKKEI、TOKYO FM、J-WAVEなど13局の聴取が可能だ。

スマホやタブレットでは、無料の専用アプリを利用するのが簡単でよい。アプリを起動すると、聴取可能な局の一覧が表示される(図5)。タップして選ぶだけで、再生が始まる。

再生画面には、番組表が表示される。画面を縦にスライドすると別の時間帯の番組表が、横にスライドすると他局の番組表が表示される(図6)。背景に色が付いているのが、現在放送中の番組で、別の局の番組名をタップすると、再生が切り替わる。

番組の詳細情報画面の「タイムライン」タブでは、関連するTwitterのコメントをまとめて表示したり、ここからTwitterへリンクしてつぶやくこともできる(図7)。一部の放送で利用できる「オンエア曲」タブでは、放送した楽曲の詳細が表示される。購入サイトへのリンクもあり、



気に入った曲の購入も容易だ(図8)。

気に入った番組や楽曲の情報をまとめておける「クリップ」機能も便利。Webブラウザのお気に入り機能のようなもので、クリップした項目へ素早くアクセスすることができる(図9)。気に入った番組を聞き逃さないように、時間が来たら自動的に再生する「予約再生」機能も利用できる(図10)。

パソコンの場合は、Webブラウザでradiko.jpのWebサイトを開いて聴取する(図11)。番組表やTwitter連携などの機能も利用できる。いちいちサイトを開くのが面倒という場合は、画面下にある「radiko.jp ツール」をクリックし、開く画面の指示に従って「radiko.jp ガジェット」という小型の再生用アプリをインストールして利用するとよい。

NHKラジオの場合は、スマホやタブレットでは「らじる★らじる」という専用アプリで聴取する。

使い方はradiko.jpとそれほど変わらない。アプリを起動したら、NHKラジオ第1放送、第2放送、NHK-FMの3つから聴きたい局を選ぶ(図12)。番組の詳細情報や、番組表の表示も可能だ(図13、図14)。

NHKの場合は、他地域で配信している番組を聴取できる(図15)。現時点では、仙台、東京、名古屋、大阪の4局の番組が聴取可能。地元のローカルニュースなどを聴くことができるわけだ。

パソコンで聴取する場合は、WebブラウザでNHK ネットラジオのWebサイトを開き、そこで再生する(図16)。

このほか電波で配信するラジオ局

### ●NHKラジオを聴取する

**NHK ネットラジオ らじる★らじる**  
提供：NHK 対応：Android、iOS 価格：無料



図12 アプリを起動すると、選局画面が表示される。NHKラジオ第1放送、第2放送、NHK-FMから、聴きたい放送をタップする



図13 選んだ放送が再生される。画面上には、放送中の番組内容が表示される。右にあるボタンで、番組予約やTwitterでのコメントなども可能だ

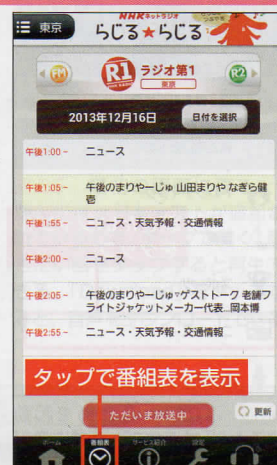


図14 画面下部の「番組表」ボタンをタップすると、番組表表示になる。「日付を選択」をタップすると、別の日付の番組表を表示できる(一週間分)

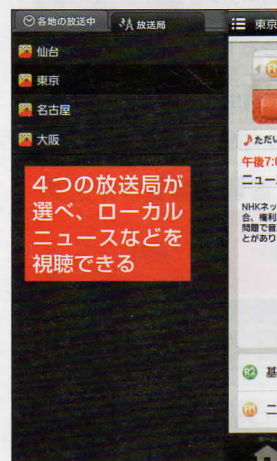


図15 図14で、画面左上の「東京」をタップすると、地域の切り替えが可能。現在は、仙台、東京、名古屋、大阪の放送を選べ、各地のローカル番組などが聴取できる



図16 パソコンなどでは、radiko.jpと同じように、Webブラウザを使って番組の聴取が可能だ。メインページで放送局をクリックすると、サブウィンドウが表示され、そこでボリューム調整や番組内容の確認などができる

### ●地域コミュニティFM放送も聴取可能

**サイマルラジオ for Android**  
提供：サイマルラジオ 対応：Android 価格：無料

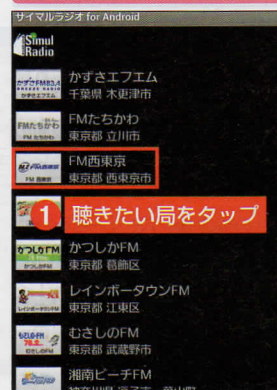


図17 地域密着型のコミュニティFM放送も、ネットで聴取可能だ。専用アプリは現在Android版しかない。パソコンの場合は、Webブラウザを使ってサイマルラジオのサイト(<http://www.simulradio.jp/>)で聴ける。なおiPhoneなどでは、後述の「TuneIn Radio」で聴取できる



## ●世界中にあるネットラジオ局を聴取する

**TuneIn Radio**  
提供: TuneIn 対応: Android, iOS 価格: 無料、Pro版は695円(Android)/100円(iOS)

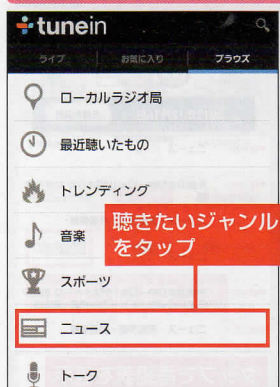


図18 TuneIn Radioを起動すると、「ブラウズ」タブにラジオのジャンルの一覧が表示されるので、まずは聴きたいラジオ局のジャンルを順に選ぶ



図20 ラジオの再生が始まる。なお、画面上にある「関連項目」タブに切り替えると類似的の放送局を表示でき、「最近聴いたもの」タブでは、過去に再生した曲の一覧が表示される

図19 ジャンルに含まれるラジオ局の一覧が表示される。ここから、聴きたいラジオ局をタップ



図21 有料版のTuneIn Radio Proには、録音機能がある。画面下に録音ボタンが追加されており、クリックすると現在再生中の番組を録音できる(左)。「録音済み」タブに録音データの一覧が表示される。タップで再生できる(右)

## ●パソコンならiTunesが便利

**iTunes**  
提供: アップル 対応: Windows 8/7/Vista/XP (SP2以降) 価格: 無料  
<http://www.apple.com/jp/itunes/>

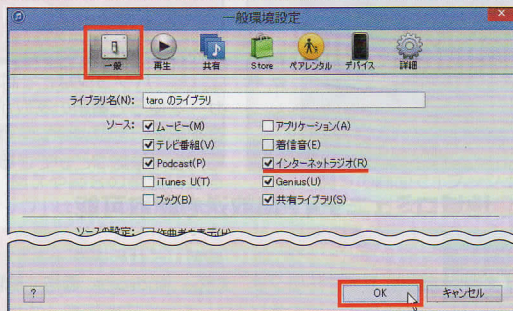
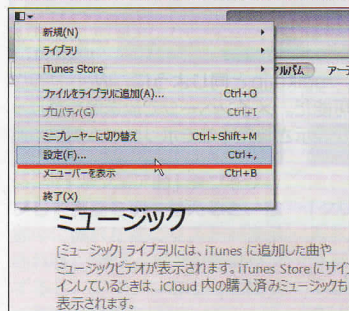


図22 パソコンで世界のネットラジオを聴くなら、アップルの音楽管理ソフト「iTunes」を使うのが手取り早い。まず画面左上のボタンをクリックして、「設定」を選び(左)、開く画面の「一般」タブで、「インターネットラジオ」をチェックして「OK」を押す(右)

図23 図22の設定後、「ミュージック」を選ぶと、「インターネット」という項目が表示される。これをクリックすると、ネットラジオのジャンルが表示される。ジャンル名左の「▶」をクリックすると、局の一覧が表示されるので、聴きたい局をクリックすると再生される

には、地域に密着した情報共有を目的としたコミュニティFM局というものがある。これらも、ネットで再配信を行っている。同じように、スマホやタブレットでは専用アプリ、パソコンでは配信用Webサイトで聴取できる(図17)。

## 世界中のラジオ局を聴取

世界中にある多数のネットラジオを聴きたいときは、スマホやタブレットの場合は、「TuneIn Radio」のような専用アプリを使うとよい。

TuneIn Radioでは、多数のネットラジオ局のリストを用意しており、選ぶだけで番組の再生が可能だ。ネットラジオ専門局ほか、主要な外国のラジオ局、日本ではNHKやコミュニティFM局などを聴取できる。

TuneIn Radioでは、「スポーツ」「ニュース」などの分野別に、ネットラジオが整理されている。分野を選ぶと、ラジオ局一覧が表示されるので、タップして再生する。局名などから検索も可能だ(図18～図20)。

TuneIn Radioには有料のPro版があり、録音に対応する(図21)。

パソコンの場合は、アップルの音楽管理ソフト「iTunes」が簡単でよい。一覧からネットラジオ局を選ぶだけで、再生できる(図22、図23)。

なお前述のように、ネットラジオ局の中には、ポッドキャストを使って番組を配信しているものもある。ポッドキャストアプリに番組を登録すると、最新番組の情報が自動更新され、すぐに聴けるようになるのがメリットだ。

スマホやタブレットの場合は、ポッドキャストアプリがいくつもある



ので、好きなものを選ぶとよい(図24、図25)。パソコン向けにもポッドキャストアプリが多数あるが、iTunesも対応しているので、これを利用するのが手軽だ(図26、図27)。

さて、ラジオの再生中に、番組内容を録音して残しておきたいこともあるだろう。スマホの場合、音質にこだわらなければ、ボイスレコーダーアプリで再生中の音声を録音する手がある(図28、図29)。\* 録音時はボリュームを上げ、余計な音を立てないようにしよう。パソコンの場合、録音可能なフリーソフトなどを使うとよい(図30)。ただし一部のパソコンでは、この方法で録音できないケースもある。

なおラジオ局の中には、聞き逃し対策として、一定期間の間、Webサイトで番組を配信しているケースもある。例えば図3で紹介したニッポン放送の「Radital」(<http://www.radital.jp/>)は、番組を無料/有料で配信するサービスだが、「オールナイトニッポン」などの人気番組は、一定期間の過去放送を無料で聴取できる。NHKの「語学番組」サイト(<http://cgi.nhk.or.jp/gogaku/>)では、「基礎英語」などの番組を、過去1週間分配信している。

### ●ポッドキャストでラジオ番組を聴く



図24 アプリを起動し、「Add Feed」ボタンをタップ。開く画面で、「Region」→日本を選ぶと、国内の主なポッドキャスト番組が表示される。聴きたい番組の「Subscribe」ボタンをタップして登録する

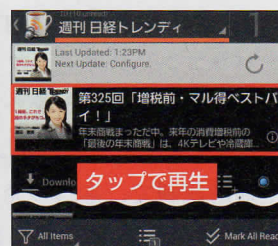
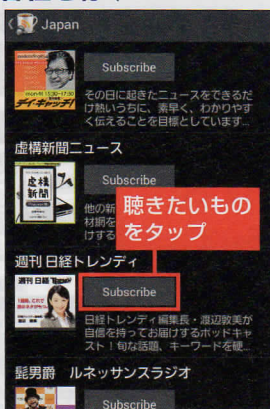


図25 最初の画面に戻ると、選んだポッドキャストが追加されているので、タップで開く。聴きたい回をタップすると再生できる。「Download」をタップすると、音声をダウンロードできる

### ●パソコンでポッドキャストを利用する



図26 パソコンではiTunesを使うと便利。事前に図22の設定で「Podcast」をチェックしておく。まずiTunes StoreのPodcastコーナーで聴きたいものを選び、「購読する」を押す



図27 ライブラリに戻り、左のメニューで「Podcast」を選ぶと、購読を指定した番組の一覧が表示される。「再生」ボタンをクリックすると、再生できる

### ●再生中の番組を録音する



図28 ラジオの再生中に録音ボタンをタップして録音を開始する。録音を終了する際は、「完了」をタップする



図29 「プレーヤー」タブに切り替えると、録音したデータが表示される。タップすると、再生できる

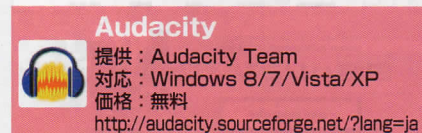
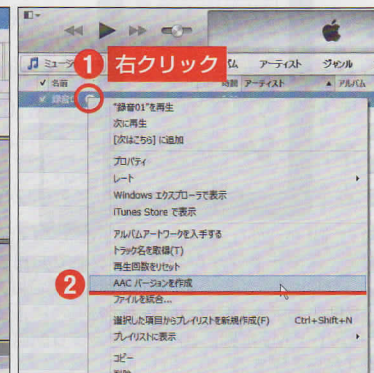
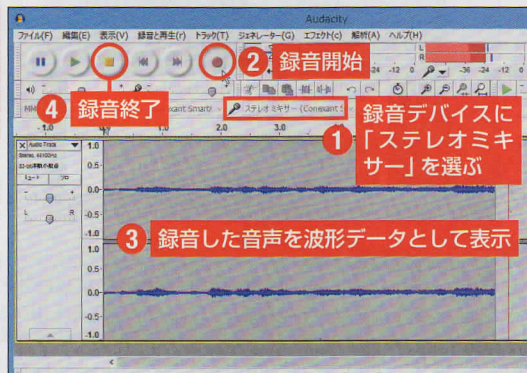


図30 パソコンの場合は、「Audacity」などの音声録音アプリを利用する。録音後、「ファイル」メニューの「書き出し」を選び、保存する。このとき、形式は「WAV (Microsoft)」を選び、面倒がない。ただしWAV形式のファイルは容量が大きい。そこでiTunesに登録して、右クリックメニューの「AACバージョンを作成」を選ぶと、容量が小さいAAC形式ファイルに変換できる



\* ラジオ放送の録音は、著作権法上、個人で楽しむ用途に限り認められています。複製してネット上にアップロードしたり、不特定多数に配布したりするような行為は法律で禁じられています。